

2024年

2024年4月5日

北海道地方 3月の天候

札幌管区気象台
気象防災部 予報課

概況

— 高気圧に覆われて晴れた日多く、かなりの多照だったが、寒気の影響で気温は平年並。 —

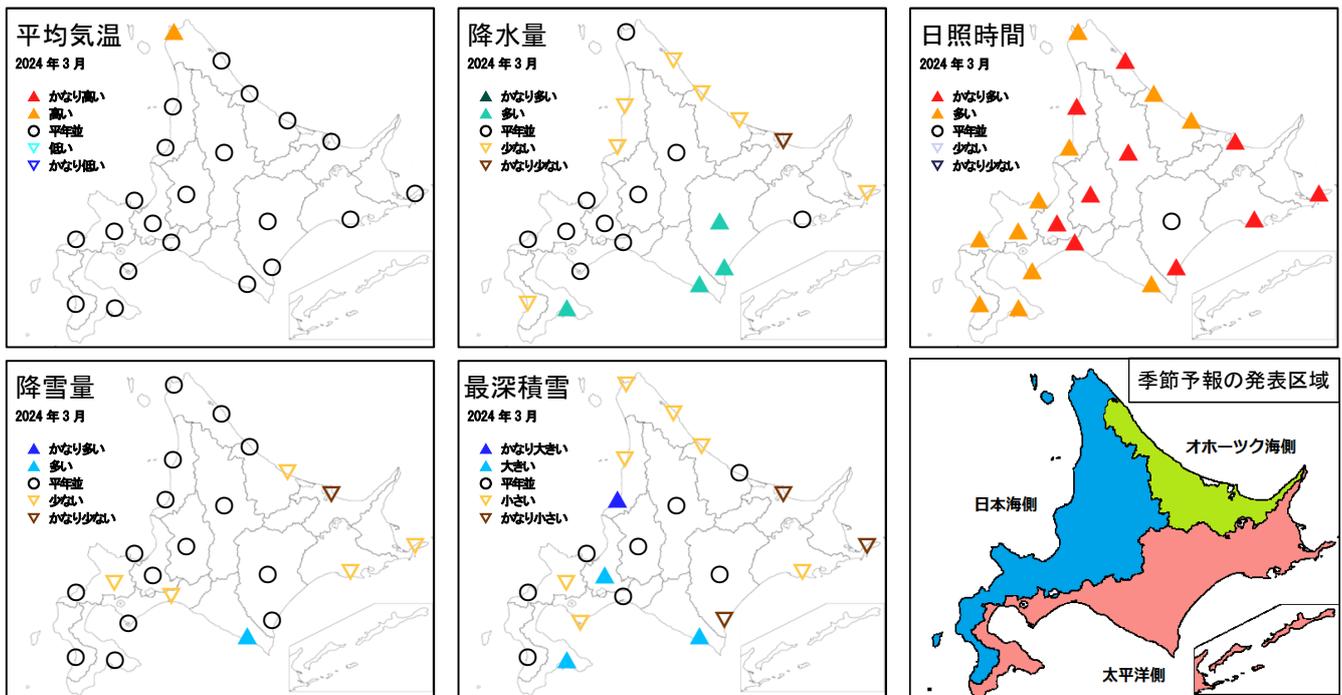
3月は、高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、北からの寒気の影響を受けた日もあったため、北海道地方の平均気温は3月としては7年ぶりに平年並となり、日照時間はかなり多かった。また、オホーツク海側では降水量がかなり少なく、降雪量も少なかった。一方、太平洋側では低気圧の影響で大雨となった日があったため、降水量は平年並となった。

上旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、日照時間は多かった。また、降水量はオホーツク海側で少なかった。一方、北からの寒気の影響を受けやすかったため、気温は低く、日本海側の降雪量は多かった。

中旬：低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。日本海側では晴れた日が多く、日照時間は多かった。一方、太平洋側とオホーツク海側では、北海道の南を通過した低気圧の影響を受けやすかったため、降水量は太平洋側で多く、日照時間はオホーツク海側で少なかった。

下旬：高気圧に覆われて晴れた日が多く、南から暖かい空気が流れ込む日が多かった。このため、日照時間が多く、気温は高かった。また、北海道地方の降雪量はかなり少なかった。特に、太平洋側及び北海道地方の降雪量の平年比は、1961年の統計開始以降、3月下旬として少ない方から第1位の記録となった。降水量は、オホーツク海側でかなり少なく、旬降水量の平年比は、1946年の統計開始以降、3月下旬として少ない方から第2位の記録となった。太平洋側では、29日に低気圧の影響により広い範囲で大雨となったため、多かった。

階級分布図



※ 本資料では、次のような階級を用いる。「低い（少ない、小さい）」「平年並」「高い（多い、大きい）」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（かなり少ない、かなり小さい）」「かなり高い（かなり多い、かなり大きい）」と表現する。

※ 概況欄における気温の高い・低い、降水量と日照時間の多い・少ない、積雪深の大きい・小さいという記述は、前項の階級を基準とする。かなり高い・かなり低い、かなり多い・かなり少ない、かなり大きい・かなり小さいについても同様。

※ データは速報値であり、後日変更される場合がある。

月の統計値(地域平均)

	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	-0.2	0	88	0	119	++	81	0
日本海側	-0.2	0	84	0	123	+	88	0
オホーツク海側	-0.1	0	50	--	118	+	68	-
太平洋側	-0.2	0	112	0	115	++	79	0

旬の統計値(地域平均)

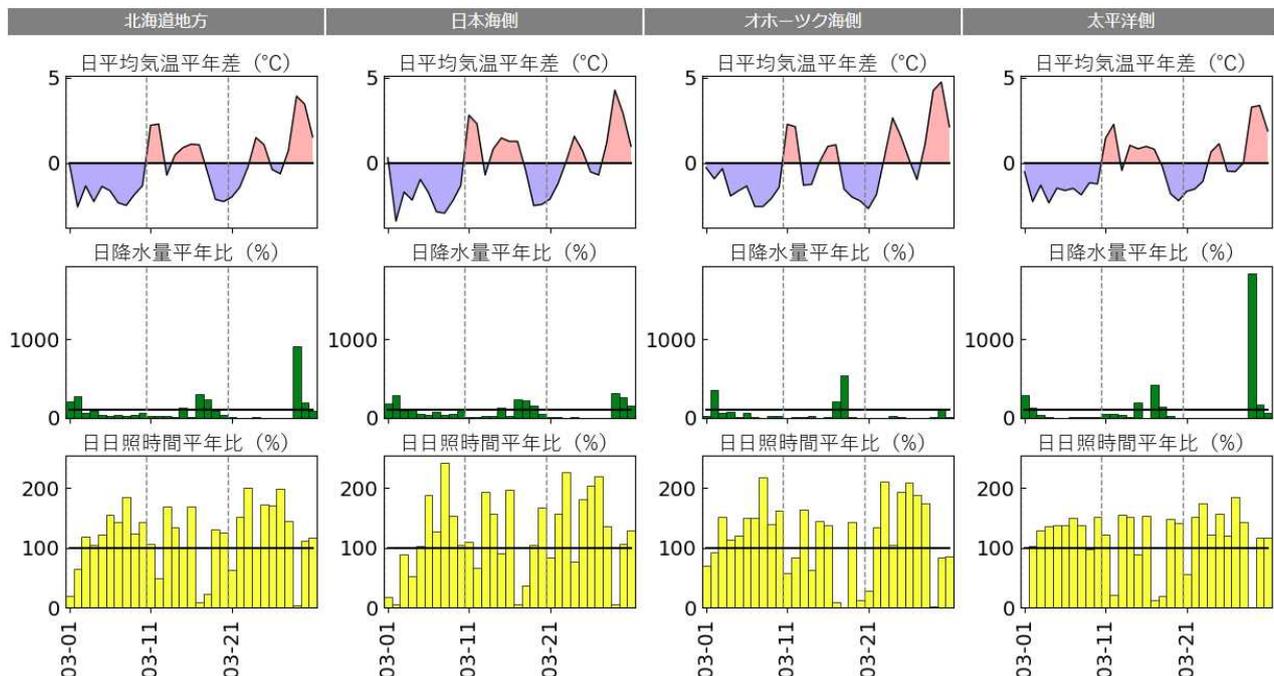
上旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	-1.6	-	73	0	118	+	115	0
日本海側	-1.8	-	101	0	110	+	132	+
オホーツク海側	-1.3	-	52	-	139	++	80	0
太平洋側	-1.6	--	50	0	118	+	111	0

中旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+0.1	0	96	0	105	0	93	0
日本海側	+0.3	0	82	0	116	+	85	0
オホーツク海側	-0.3	0	94	0	82	-	105	0
太平洋側	+0.2	0	118	+	103	0	98	0

下旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+0.8	+	99	0	130	+	4	--
日本海側	+0.8	+	68	0	137	++	6	--
オホーツク海側	+1.2	+	11	--	130	+	6	--
太平洋側	+0.7	+	182	+	121	+	0	--

注)・数値は、地域内の気象台等(日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点)の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。

気象経過図



注) グラフ横軸(日付)の▲、×はそれぞれ、該当する日のデータが資料不足値、欠測であることを示す。

月の統計値（地点別）

官署名	平均気温			降水量			日照時間			降雪量			最深積雪		
	本年 °C	平年差 °C	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級	本年 cm	平年値 cm	階級	本年 cm	平年値 cm	階級
札幌	0.8	-0.3	0	67.5	87	0	181.7	126	++	69	74	0	95	82	+
稚内	-0.2	+0.4	+	54.0	98	0	167.5	122	+	71	68	0	35	58	-
北見枝幸	-1.4	+0.1	0	38.0	59	-	176.7	124	++	80	91	0	75	98	-
旭川	-1.9	-0.5	0	48.0	87	0	182.7	129	++	65	80	0	74	82	0
留萌	-0.5	-0.5	0	33.5	63	-	157.0	121	+	57	75	0	116	72	++
羽幌	-0.4	-0.3	0	46.0	68	-	171.0	128	++	65	65	0	62	86	-
岩見沢	-0.8	-0.4	0	59.5	100	0	209.0	129	++	66	72	0	92	99	0
倶知安	-1.5	-0.5	0	76.0	77	0	142.2	117	+	90	122	-	139	170	-
小樽	0.6	-0.2	0	69.0	79	0	155.1	120	+	78	80	0	102	106	0
寿都	1.3	+0.1	0	64.0	94	0	142.3	128	+	49	60	0	49	55	0
網走	-1.6	-0.3	0	10.5	27	--	202.8	118	++	25	52	--	17	52	--
紋別	-1.3	-0.1	0	20.0	56	-	179.5	112	+	38	62	-	56	54	0
雄武	-2.0	-0.3	0	24.0	62	-	184.2	116	+	44	59	0	50	63	-
釧路	-0.6	-0.2	0	50.5	90	0	240.4	120	++	12	31	-	9	23	-
根室	-0.7	+0.1	0	28.0	60	-	226.3	119	++	16	36	-	6	25	--
帯広	-0.9	-0.5	0	52.5	120	+	231.3	106	0	31	36	0	58	57	0
広尾	-0.3	-0.4	0	146.5	154	+	214.7	115	++	43	63	0	34	85	--
室蘭	1.3	-0.1	0	52.5	105	0	202.7	110	+	20	27	0	7	18	-
苫小牧	0.2	-0.3	0	55.5	104	0	212.5	128	++	17	26	-	16	19	0
浦河	0.5	-0.4	0	70.5	144	+	211.7	109	+	25	19	+	16	10	+
函館	1.8	-0.1	0	76.0	119	+	174.5	110	+	51	41	0	30	28	+
江差	2.8	-0.1	0	50.0	79	-	137.5	112	+	20	26	0	9	13	0

注) ・平年値は1991～2020年の30年間の平均値。

- ・階級の++は平年よりかなり高い(多い、大きい)、+は平年より高い(多い、大きい)、0は平年並、-は平年より低い(少ない、小さい)、--は平年よりかなり低い(少ない、小さい)を示す。
- ・「) 」付きの値は欠測を含む。「] 」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

月統計値の順位値更新一覧（第3位まで）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
3月	月降水量(少ない)	第1位	網走	10.5 mm	27 %	12.9 mm (1932)	1890
	月間日照時間(多い)	第3位	苫小牧	212.5 h	128 %	216.7 h (1972)	1943

お問い合わせ先

札幌管区気象台 気象防災部 予報課
TEL (011) 611-0170